

事務事業名称	市有建築物整備・保全事業(建築課)										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	建築課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	年度		～	年度まで	
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	庁舎等の市有建築物(学校以外)を管理する各施設所管課			
	サブターゲット	庁舎等の市有建築物(学校以外)の利用者			
	ターゲットが抱える課題	各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の安全性及び機能性を維持し施設の延命化を図るために、計画的な改修が必要となる。			
	ターゲットが抱える課題	各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の利用目的や状態の変化などに即した適切な整備・改修が必要となる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市有建築物保全計画に基づき適切に施設の保全を行うことにより施設の安全性と機能性を維持し延命化を図ることができている。 各施設の利用者が安全かつ快適に利用することができている。				
事業概要	各施設所管課(学校以外)からの改修依頼に基づき、各施設改修等の設計及び工事監理を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						各施設所管課(学校を除く)からの依頼に基づき発注した、各施設等の工事監理を適切に行う。				各施設所管課(学校を除く)からの改修等の依頼に基づき、工事発注を行う。				
指標設定	指標説明					期日までに工事を完了できた件数				工事实施件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					-	7	10	10	-	7	10	10
	達成度					100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.95
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	24,750	23,045		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	24,750	23,045		
物件費計	-	0	0	0		
歳出計	-	24,750	23,045			
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画に基づく保全工事その他の工事を行った。また、各施設所管課(学校園を除く)からの改修依頼に基づき、各施設改修等の設計及び工事監理を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市有建築物保全計画第Ⅲ期実施計画に基づく保全工事その他の工事を行っていく。また、各施設所管課(学校園を除く)からの改修依頼に応じ、各施設改修等の設計及び工事監理を実施していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 322

事務事業名称	枚方市立禁野小学校整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	建築課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	学校園施設環境改善交付金、公立学校施設整備費負担金		サンセット		～
関係附属機関名称	禁野小学校設計施工(DB)事業者選定審査会				
事業対象	メインターゲット	中宮北小学校区と高陵小学校区の児童			
	サブターゲット	中宮北小学校区と高陵小学校区の児童の保護者及び近隣住民			
	ターゲットが抱える課題	各校共に小規模校であり、クラス替えができない状況になり、新たな出会いや多様な考えに接する機会が少なく、人間関係が固定化され、お互い切磋琢磨できにくい状況である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	小規模校の統合により子どもたちの教育環境の整備・向上を図る。				
事業概要	高陵小学校と中宮北小学校は現在小規模校であり、将来推計においても児童数の増加により適正規模の範囲になる見込みがない。「枚方市学校規模等適正化基本方針【改定版】」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合を行うため、高陵小学校敷地に枚方市立禁野小学校の整備を行う。なお、建て替えの間、高陵小学校の児童を中宮小学校で受け入れ、学校統合とし、不足する6教室をリース方式により設置する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						枚方市立禁野小学校が整備される				枚方市立禁野小学校に係る設計業務、工事期間中のリース、解体工事を実施する			
指標設定	指標説明					枚方市立禁野小学校の工事進捗度				枚方市立禁野小学校の設計・リース、解体工事進捗度			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					単位 %				単位 %			
	目標(見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					-	0	0	0	-	0	35	81
達成度					新校舎建設工事はR6年度着手予定				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	7,857	11,718		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	48	85		
	人件費計	—	7,905	11,803		
	物件費計	—	17,600	103,626	105,209	98.5%
歳出計	—	25,505	115,429			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	60,400	60,500	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	60,400	60,500	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	17,600	43,226	44,709		

5. 総括的分析

総括的分析	設計施工事業者を選定し、契約を締結した。その後、基本設計及び旧高陵小学校校舎解体工事に着手し、予定通り実施できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	R8年度内に新校舎建設が完了できるよう取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 334

事務事業名称	学校整備・保全事業(建築課)										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	建築課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地域教育行政の組織及び運営に関する法律第23条7号				
関係補助金名称	学校園施設環境改善交付金、公立学校施設整備費負担金		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の公立小学校及び中学校に通学する児童・生徒			
	サブターゲット	枚方市の公立小学校及び中学校を利用する市民全般			
	ターゲットが抱える課題	学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できるような必要な施設整備や保全を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	老朽化した学校施設が一斉に更新時期を迎えることになるため、施設の長寿命化や学校規模等の適正化を図る必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市学校整備計画」に基づき、適切な学校施設の整備が行われている状態。 学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。 学校トイレを乾式化するとともに洋式トイレに改修し多目的トイレの整備を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			小中学校のトイレ改修が進む。				小中学校のトイレ改修事業を行う。			
指標設定	指標説明		工事实施箇所(系列)数 R2目標(見込み):10				当該年の計画対象箇所(系列)数 R2目標(見込み):10			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		10	32	31	35	10	32	31	35
	実績		8	32	31		8	32	31	
達成度			100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						学校施設における工事発注した、各校の工事監理を適切に行う。				学校施設における、工事発注を行う。				
指標設定②	指標説明					期日までに工事を完了できた件数				工事实施件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					19	35	35	46	19	35	35	46
	達成度					97%				97%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	9.45
再任用	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	76,606	77,851		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	76,606	77,851		
	物件費計	-	2,196,792	2,403,945	2,450,128	98.1%
歳出計	-	2,273,398	2,481,796			
歳入	国庫支出金	-	637,469	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	
	市債	-	22,300	1,182,000	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	659,769	1,182,000	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	-	1,537,023	1,221,945	2,450,128		

5. 総括的分析

総括的分析	「枚方市学校整備計画」に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、計画的に改修・更新工事を進めている。R4年度も、当該計画に沿って学校施設の改修・更新工事を実施し、施設の適正な維持保全を図った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向けて取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 458

事務事業名称	教室不足対応事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	建築課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名	16-3.学校園施設等の整備									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条7号				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	学校施設を利用する児童・生徒			
	サブターゲット	学校施設を利用する市民全般			
	ターゲットが抱える課題	学校施設を利用する児童・生徒を主とした利用者が、安全で快適に利用できるように施設整備や保全を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な学校施設の整備が行われている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 津田中学校は、生徒数の増加により令和4年度から教室数が不足すると予測されることから、教育環境の整備・向上を図るため、教室を新たに整備する。 枚方中学校は、生徒数の増加により令和4年度から教室が不足すると予測されることから、教育環境の整備・向上を図るため、教室を新たに整備する。 菅原東小学校は、児童数の増加により令和5年度から教室数が不足すると予測されることから、教育環境の整備・向上を図るため、教室を新たに整備する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	教室数の増加により、今後の生徒数の増加に対応した適切な学校設備が整備できている。				アウトプット (活動結果)	工事の実施により、普通教室の数が増える。				インプット (活動)	津田中学校3教室、枚方中学校4教室、菅原東小学校6教室の整備工事を実施。			
	指標説明	全教室数に対する実際に使用されている教室の割合				整備された教室数				不足教室数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	—	—	100	100	—	—	7	13	—	—	7	13		
	実績	0	0	100		0	0	7		0	0	7			
達成度	100%				100%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,975	4,714	4,687		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,975	4,714	4,687		
物件費計	11,274	6,864	37,897	30,031	126.2%	
歳出計	19,249	11,578	42,584			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	11,274	6,864	37,897	30,031		

5. 総括的分析

総括的分析	教室数が不足すると予測される小学校・中学校において、教育環境の整備・向上を図るため、児童数の増加に対応した適切な教室整備を計画・検討した。このうち、津田中学校3教室、枚方中学校4教室について、令和4年度から使用開始できるよう整備した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	児童・生徒数の増加により、教室数が不足すると予測される学校における教育環境の整備・向上を図るため、教室整備を実施していく。このうち、菅原東小学校6教室について、令和5年度から使用できるよう、教室を新たに整備していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 955

事務事業名称	建築課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	建築課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の所管事務を行う職員			
	サブターゲット	課の所管事務に関わる他部局			
	ターゲットが抱える課題	課の運営業務を円滑に実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営業務が円滑に実施できている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	11,786	11,718		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	11,786	11,718		
物件費計	-	0	0	0		
歳出計	-	11,786	11,718			
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行った。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。